

平成23年8月26日

公立大学法人高知工科大学
理事長 岡村 甫 様

高知県公立大学法人評価委員会
委員長 宮田 速雄 (公印省略)

公立大学法人高知工科大学 平成22年度業務実績評価の
結果について (通知)

当評価委員会は、この度、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）及び高知県公立大学法人の規則の業務運営並びに財務及び会計に関する規則（平成21年高知県規則第29号）の規定に基づき、貴法人の平成22年度業務実績を評価し、業務実績評価書を別紙のとおり作成しましたので、通知します。

公立大学法人高知工科大学

平成22年度 業務実績評価書

平成23年8月

高知県公立大学法人評価委員会

目 次

第1	評価の基本的な考え方	1
第2	評価の結果	
1	全体評価	3
2	項目別評価	
①	高知工科大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置	
1	教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	3
②	同上 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置	4
③	同上 3 社会貢献の質の向上に関する目標を達成するための措置	5
④	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置	5
⑤	財務内容の改善に関する目標を達成するための措置	6
⑥	教育及び研究並びに組織及び運営の状況についての自己点検及び 評価並びに当該状況に係る情報提供に関する目標を達成するための措置	6
⑦	その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置	6
3	組織、業務運営等にかかる改善事項等	7

第1 評価の基本的な考え方

高知県公立大学法人評価委員会は、地方独立行政法人法第28条第1項及び第2項の規定に基づき、公立大学法人高知工科大学（以下「法人」という。）の平成22年度における業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、法人の当該事業年度における業務の実績及び自己点検・評価を内容とする業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて、「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

1 項目別評価

評価委員会は、次の事項（以下、大項目という。）ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況を勘案して、5段階により評価するとともに、その評価理由を明らかにする。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、事後の外形的な進捗状況の評価を行う。

〔大項目〕

- ①高知工科大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置
 - 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置
- ②同上 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置
- ③同上 3 社会貢献の質の向上に関する目標を達成するための措置
- ④業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置
- ⑤財務内容の改善に関する目標を達成するための措置
- ⑥教育及び研究並びに組織及び運営の状況についての自己点検及び評価並びに当該状況に係る情報提供に関する目標を達成するための措置
- ⑦その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置

〔5段階〕

- 5：中期計画の達成に向け特筆すべき進捗状況である。
- 4：中期計画の達成に向け順調に進捗している。
- 3：中期計画の達成に向けおおむね順調に進捗している。
- 2：中期計画の達成に向け進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成に向け進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、当該事業年度における業務実績の全体について、記述式により総合的な評価を行う。また、必要がある場合は、法人に対する業務運営の改善その他の勧告事項を記載する。

高知県公立大学法人評価委員会委員

区分	氏名	役職名
委員長	宮田 速雄	株式会社高知新聞社 代表取締役社長
委員	伊野部 重晃	株式会社高知銀行 取締役頭取
委員	木村 靖二	立正大学 教授
委員	寺田 覚	公認会計士・税理士
委員	船橋 英夫	国立高知工業高等専門学校 校長

第2 評価の結果

1 全体評価

高知工科大学は、平成9年の開学以来、「大学のあるべき姿を追求し、世界一流の大学を目指す」という高い志を掲げ、有為な人材を育成するとともに、優れた教育研究の成果を社会に還元し、高知県民の生活及び文化の向上に寄与してきた。

平成22年度は、公立大学法人となってから2年目であり、前年度に引き続き、理事長、学長のリーダーシップの下、教育、研究及び社会貢献に関する戦略的な取組みを進めるとともに、業務運営の改善及び効率化についても、法人全体で推進している。

特筆すべき成果としては、昨年度以上に厳しい就職環境の中で、就職活動を行う学生に対してきめ細やかな支援を行い、高い就職内定率を得たこと、外部資金の獲得と活用による高度な研究を積極的に推進していること、運営諸経費の節減等により財源を確保し、教育研究用の機器や施設の整備を実施したこと等が挙げられる。

その他の項目についても、年度計画を十分に実施していると認められ、全体として、中期計画の目標達成が期待されるものである。

2 項目別評価

①高知工科大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 1 教育の質の向上に関する目標を達成するための措置	評価	4：中期計画の達成に向け 順調に推移している
---	----	---------------------------

○実施状況の概要及び評価

工学系3学群、マネジメント学部とともに、専門分野だけでなく、関連領域を幅広く学ぶことができる教育プログラムを着実に実行した。

また、学生のメンタルヘルス相談の増加に対応するため、臨床心理士の勤務回数を増やし、健康相談室の看護師を増員した。

学生の就職支援及びキャリア支援に関しては、学部3年生を対象にチャーターバスを利用した就職活動研修を実施するとともに、学内における合同会社説明会、本県、東京、大阪における企業向けの大学説明会を開催した。また、平成23年度に第1期

生が4年生となるマネジメント学部については、単独の説明会を本県及び大阪において実施した。このほか、学内にキャリアカウンセラー配置するとともに、民間企業に委託して東京、大阪における就職相談等の支援サービスも利用できるようにした。厳しい就職環境の中、このような学生に対するきめ細やかな支援を行うことで、全国平均を上回る就職実績となっている。

学生の受入れについて、一般入試、推薦入試のほかに、スポーツにおいて優秀な競技成績を収めた高校生を対象とする特別推薦入試を導入した。

また、オープンキャンパス等大学の活動を広報するための各種イベントを積極的に実施した。

その他、スポーツ施設を整備するなど、クラブ活動の支援も行っており、全体として教育の質の向上に向けて着実に取り組んでいると認められることから、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

②高知工科大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置 2 研究の質の向上に関する目標を達成するための措置	評価 4：中期計画の達成に向け 順調に推移している
---	------------------------------

○実施状況の概要及び評価

学内組織や専門領域の枠を超えた研究交流を行うため、前年度に引き続き、学内サイエンスカフェと講演会を実施し、「開かれた研究の場」の形成と発展に努めた。

また、研究成果を積極的に学会誌に発表した結果、延べ13名が学会等で受賞するとともに、研究成果の商品化や特許収入の獲得につながった。

総合研究所の2研究センターと1研究室に予算等を重点配分して支援した結果、国の高い評価を得て多額の研究資金を獲得した。

科学研究費補助金を獲得した研究者に対して、研究費の追加や、優先的な博士研究員の割り当てなどの支援を継続するとともに、独創性の高い研究に対する外部資金獲得を組織的に支援するため、研究本部内に研究開発コーディネート室を設置した。

この他、附属情報図書館の情報提供力の強化により、利用数も大きく増加しており、全体として研究の質の向上に向けて着実に取り組んでいると認められることから、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

<p>③高知工科大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置</p> <p>3 社会貢献の質の向上に関する目標を達成するための措置</p>	<p>評価</p>	<p>4：中期計画の達成に向け 順調に推移している</p>
--	-----------	-----------------------------------

○実施状況の概要及び評価

地域連携機構に新たな教員の配置や室を設置して、国の委託事業を活用し、地域ニーズに密着した課題に取り組むとともに、前年度に引き続き、講演会やシンポジウム、研修会等を開催した。

また、高知女子大学永国寺キャンパスにサテライト教室を開設し、社会人及び大学院起業家コースを対象にした公開講座を実施した。

附属情報図書館は、引き続き地域住民への開放を行うとともに、県立図書館との資料の相互利用や、香美市図書館との相互協力を実施した。

大規模災害に備えた高知県や香美市との協議を行うとともに、県内小中高校への訪問教育、中高教員を対象とする研修会など県内学校との連携を行った。

留学生の受入れ、国際会議の開催など国際交流についても着実に実施しており、全体として、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

<p>④業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置</p>	<p>評価</p>	<p>4：中期計画の達成に向け 順調に推移している</p>
--------------------------------------	-----------	-----------------------------------

○実施状況の概要及び評価

組織の継続的な見直しを行い、本部機能をスリム化するとともに、センター組織と事務組織の関係を強化した。

大学院について、博士後期課程の入学定員を見直すとともに、マネジメント学部の修士課程開設を検討し、素案を作成した。

事務職員の能力育成のための新たな人事考課制度を構築したほか、前年度は十分ではなかった事務職員の能力を高めるための研修について、新規採用者、中堅職員、管理職員等階層別研修及び部門別の専門研修を実施しており、全体として、計画どおり進捗していると評価できる。

⑤財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

評価

4：中期計画の達成に向け
順調に推移している

○実施状況の概要及び評価

競争的研究資金の獲得を支援するための相談会、説明会を実施するとともに、科研費の採択者には翌年度に獲得資金の半額を支援する制度を引き続き実施した。また、専門的な知識と経験を有するコーディネーターに委託することで、効果的な競争的資金の獲得を図った。

また、業務改善を目的に組織規程や決裁規程を見直したほか、法人が所有する全ての資産について使用状況を調査し、遊休財産の売却を決定するなど、資産の効率的な管理も行っており、全体として、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

⑥教育・研究及び組織運営に関する自己点検・評価並びに情報提供に関する目標を達成するための措置

評価

4：中期計画の達成に向け
順調に推移している

○実施状況の概要及び評価

年度計画の進捗状況について定期的に確認するとともに、中期計画の進行状況についても、随時、点検・評価を実施した。平成24年度に認証評価機関の評価を受けるための準備を行うとともに、公文書の積極的な開示等を行うための規程及び実施体制を整備した。

また、教員・研究員の業績データベースを構築し、法人の知的資産の収集を効率的に行う環境も整えており、全体として、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

⑦その他業務運営に関する重要事項を達成するための措置

評価

4：中期計画の達成に向け
順調に推移している

○実施状況の概要及び評価

施設設備・教育用機材についてニーズ調査を実施し、必要な更新を行った。災害時の避難場所に指定されていることから、香美市等と協議し、災害時に必要な備品及び備蓄品を配備した。

内部監査を推進するために常設の監査室を開設し、業務監査及び会計監査を実施するとともに、不正防止推進委員会において、不正防止計画の策定等を行った。

また、環境保全のボランティア活動、環境への負荷低減に貢献する研究活動を支援した結果、総務省、文部科学省の補助事業に採択された。

その他、学生や職員の健康維持等の安全管理についても計画どおり実施されており、全体として、計画どおり順調に進捗していると評価できる。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。